

生命理工学研究科生命理工学専攻 修士課程 カリキュラム・マップ

養成する人材像

生命理工学研究科生命理工学専攻（修士課程）では、「科学的根拠（サイエンス）に基づいた、術（アート）を備えた慈愛（ハート）のある医療人の創生」を目的として、分子レベルでの生命科学から創薬、および化学療法と人間工学を基盤とし、健康の維持と増進に寄与し、医療現場の中核となりうる深い知識と研究能力・実践力を兼ね備えた研究者・技術者・医療人を養成する。

ディプロマポリシー

<p>DP1（知識・技能）</p> <p>生命科学・薬学領域、もしくは健康医療・人間工学領域における深い学識・高度な研究能力・技術力を修得している。</p>	<p>DP2（思考力・判断力・表現力）</p> <p>研究者・技術者・医療人として、科学的な論理的思考に基づいた問題解決能力を修得している。</p>	<p>DP3（主体性・態度）</p> <p>研究者・技術者・医療人にふさわしいヒューマニズムと倫理観を身につけ、研究活動に必要なコミュニケーション能力、及び外国語能力を修得している。</p>	<p>DP4（創造力）</p> <p>生命科学・薬学、もしくは健康医療・人間工学の専門領域における理論と技術を応用し展開できる能力を修得している。</p>
---	---	--	--

学会発表・学位論文作成

2年	2～3年	<p>生命理工学特別研究Ⅱ</p> <p>[健康医療系関連科目] 健康医療科学研究法特論Ⅱ 健康医療における学習特論</p> <p>[生命科学系関連科目] 生命科学特論Ⅱ 生化学特論</p>	生命理工学研究講読Ⅱ	研究指導				
		<p>生命理工学特別研究Ⅰ</p> <p>[健康医療科学系関連科目] 健康医療科学研究法特論Ⅰ 生物統計学特論 科学的根拠に基づく医療の理論と実践 リハビリテーション学特論 内部障害リハビリテーション特論 実践内部障害リハビリテーション演習 運動器リハビリテーション特論 実践運動器リハビリテーション演習 神経リハビリテーション特論 実践神経リハビリテーション演習 精神リハビリテーション特論 実践精神リハビリテーション演習 健康医療における教育特論</p> <p>[生命科学系関連科目] 生命科学特論Ⅰ 生体機能特論 生体物質特論 物質構造特論 毒性学特論 天然物化学特論 有機化学特論 生命理科学特論 構造生物学特論 物理化学特論</p>	生命理工学研究講読Ⅰ	研究指導				
通常履修	長期履修	技能	知識	論理的思考力	問題解決能力	情報収集能力	語学力	創造力

カリキュラム・ポリシー

<p>CP1（知識・技能）</p> <p>研究者・技術者・医療人として確かな知識・研究能力と高い技術力を身につけるために、一年次に「特別研究Ⅰ」、二年次に「特別研究Ⅱ」、及び多様な「関連選択科目」を配置する。</p>	<p>CP2（思考力・判断力・表現力）</p> <p>高度な論理的解釈能力、及び諸問題に柔軟かつ適切に対応できる問題解決能力を養うために一年次に「特別研究Ⅰ」、二年次に「特別研究Ⅱ」、および多様な「関連選択科目」を配置する。</p>	<p>CP3（主体性・態度）</p> <p>高いコミュニケーション能力及び外国語力を身につけるために一年次に「研究講読Ⅰ」、二年次に「研究講読Ⅱ」を配置する。</p>	<p>CP4（創造力）</p> <p>研究指導においては、研究者・技術者・医療人としての理論と技術を創造的に展開できる能力を養うために、一年次より国内外の文献の調査に基づく必要な情報の収集、研究データの適切な解釈、学会等での研究発表等を指導し、二年次には学位論文作成指導を行う。</p>
---	---	--	--

アドミッション・ポリシー

<p>AP1</p> <p>学士課程における生命科学や薬学、健康医療・人間工学の学修内容について、基礎的な知識や能力を身につけている人</p>	<p>AP2</p> <p>生命科学・薬学もしくは健康医療・人間工学の分野において、研究者として自ら課題を発見し解決する意欲のある人</p>	<p>AP3</p> <p>高度職業人に必要な高い能力の習得を目指す人</p>	<p>AP4</p> <p>専門的知識や高い研究能力を身につけ、国際的に活躍したい人</p>
		<p>AP5</p> <p>確かなコミュニケーション能力と高い倫理観を持ち、責任ある行動を取ることができる人</p>	